

V 參考資料

1 用語解説

①アルコール健康障害

「アルコール健康障害」とは、アルコール依存症その他の多量の飲酒、未成年者の飲酒、妊婦の飲酒等の不適切な飲酒の影響による心身の健康障害をいう。(アルコール健康障害対策基本法 第2条)。

②アルコール関連問題

アルコール健康障害及びこれに関連して生ずる飲酒運転、暴力、虐待、自殺等の問題。(アルコール健康障害対策基本法 第7条)。

③アルコール依存症

飲酒のコントロールができない、離脱症状がみられる、健康問題等の原因が飲酒とわかっていながら断酒ができない、などの症状で確定診断は ICD-10 診断ガイドラインに従います。

④アルコール精神病

アルコール精神病は振戦せん妄(意識混濁した混乱や手・指が震える)、アルコール幻覚とも呼ばれる幻聴や小動物幻視、アルコール嫉妬妄想状態となります。

⑤アルコールパッチテスト

アルコールのついたパッチテープを皮膚につけ、アセトアルデヒド脱水素酵素 ALDH2 の活性に高低で皮膚が赤くなるか否かで代謝の高さを判定します。アルコールパッチテストによって、アルコールを受け付ける体質か、そうでないか判定できます。

⑥胎児性アルコール症候群 (FAS)

赤ちゃんが母体にいるときに、母親が飲酒することによって起きる赤ちゃんの神経障害の一種。アルコール摂取量とその回数によって軽度から重度におよぶあらゆる知識障害があらわれることがある。また形態異常、学習障害、行動障害等見られることがある。

⑦致酔性

アルコールの摂取・飲酒が、意識状態の変容を引き起こすことを致酔性という。交通事故等の一因となるなど、短時間の多量飲酒による急性アルコール中毒の原因となります。

⑧年齢調整死亡率

死亡数を人口で除した死亡率を粗死亡率といいます。死亡率の地域比較の際、年齢構成の差から、高齢者の多い都道府県では高く、若年者の多い都道府県では低くなる傾向があります。そのため各地域の年齢構成を調整した死亡率が年齢調整死亡率となります。

⑨AUDIT (Alcohol Use Disorders Identification Test)

世界保健機関 (WHO) により作成されたスクリーニングテスト。WHO はアルコール関連問題の低減の手法として簡易介入をあげています。AUDIT は、簡易介入の対象者をスクリーニングする目的で作成され、アルコール依存症までには至っていない「危険な飲酒」や「有害な使用」レベルにある人を対象にしています。

⑩ブリーフインターベンション (brief intervention)

インターベンションは介入を意味し、ここでは減酒支援のため対象者の飲酒行動等の行動に対して変化をもたらすことを目的とした短時間のカウンセリングを意味します。

⑪ICD-10

国際疾病分類 (ICD=International Classification of Diseases) は、世界保健機関 (WHO) の定める伝染病、健康管理、臨床利用を目的とした標準的な診断分類で、現在の第 10 版 (ICD-10) は 1990 年の WHO 総会にて承認され、1994 年より加盟国で使われています。ICD-10 に基づいたアルコール依存症の診断基準があります。

⑫自助グループ

自助グループには以下のような組織・団体や、それを支援する法人があります

○AA : アルコホーリクス・アノニマス (Alcoholics Anonymous)

アメリカから世界に広がった飲酒問題を解決したいと願う相互援助 (自助グループ) の集まり。依存症回復プログラムがあり、毎月各地でミーティングが開かれ、依存症者のみが参加できるクローズド・ミーティングと、本人をはじめ家族や関係者も参加できるオープン・ミーティングがあります。家族は「アラノン」というアルコール依存症者の家族のための別の自助グループに参加します。

○断酒会

断酒会は全日本断酒連盟の組織で、AA を参考に組織された自助グループです。参加者は実名で参加し、毎月各地で行なわれる例会には、依存症者本人のほか家族も一緒に参加できます。例会では、参加者やその家族が飲酒にまつわる体験を語るなどの活動を行っています。

○特定非営利活動法人 ASK

ASK (アルコール薬物問題全国市民協会) は NPO 法人として設立され、アルコールをはじめとする依存性薬物の問題を予防し、人々の健康の維持・増進及び回復に寄与することを目的としています。特定非営利活動促進法にいう「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」「社会教育の推進を図る活動」「子どもの健全育成を図る活動」に取り組んでいます。

⑬アディクションフォーラム

アディクションとは、アルコール依存や薬物依存をはじめとする様々な依存症を指し、これら依存症全般について、当事者や回復者、家族らを中心とした自助グループ及び関係者が集まり、学習及び啓発・交流・研修を通してアディクションに関する関心と理解を深め、予防に必要な注意を払えることを目的とした活動です。